

第8回

ワークショップ 図書館員の未来準備

5日間
7科目

オンライン
(Zoom)・
対面(会場)
両方で開催

日進月歩を続ける図書館における情報システムと、これからの図書館の役割をテーマに毎年開催しています、図書館員の皆さまの未来準備のワークショップです。

人々の多様な学びを支え、つなぐ図書館の役割を考える機会とします。図書館に関わる皆さまのご参加をお待ちしております。



■ 実施テーマ/講師 詳細は裏面をご覧ください。全科目受講のほか、領域ごとや科目別の受講も可能です

領域① 図書館の情報システム

10/21 (月) 貸出利用統計の分析* / 星野 雅英 氏

10/21 (月) 資料のデジタルデータと Web サービス* / 川嶋 斉 氏

10/25 (金) 図書館で活用可能な AI を探る* / 中野 良一 氏

領域② 図書館の役割 1 「図書館とコミュニティ」

10/25 (金) 図書館の価値をいかに伝えるか / 豊田 恭子 氏

11/1 (金) まちづくりと図書館 / 大串 夏身 氏

領域③ 図書館の役割 2 「図書館と学び」

10/18 (金) ファブラボと図書館の可能性を考える* / 渡辺 ゆうか 氏
オンライン開催 (講師はオンライン参加になりますが、受講者は会場からの参加も可能です)

11/8 (金) 情報に向き合う姿勢と新聞 / 村山 正子 氏

会場開催のみ

※ 11/8 はニュースパーク (日本新聞博物館) で実施します。オンラインでの参加はできませんのでご注意ください。

<https://newspark.jp/information/>

各科目の
開催方法

● 会場・オンライン両方で開催
● オンライン開催 ● 会場開催のみ



*の科目では1人1台PCを使用して実習を行います。オンライン受講の方は、ご自身でPCのご用意をお願いします。

■ 受講料 (すべて税込)

全科目 20,000 円 領域① 9,000 円 領域②,③ 6,500 円

科目別 1科目 3,000 円 2時間を超える科目は 5,000 円

※ 各科目の時間は裏面をご確認ください。

会場 株式会社ヴィアックス 本郷研修センター

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-9-25 真成館ビル 2階

▶ 地図は右記 QR コードからご覧ください



オンライン
参加方法

Web 会議システム (Zoom) を使用

定員

各回 20 名程度 (対象: 図書館勤務経験者)

お問合せ

株式会社 未来の図書館 研究所

URL: <https://www.miraitosyokan.jp>

✉ info@miraitosyokan.jp

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-9-25 2階

TEL 03-6673-7287 FAX 03-6772-4395



■ お申込み方法 (先着順, 定員になり次第締切)

以下①, ②のいずれかの方法でお申込みください。

① 申込みフォーム (請求書発行, 銀行振込 or 現金払)
https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/ws/202410/



② LoFR STORE (オンライン決済やコンビニ決済可)
<https://miraitosyokan.stores.jp/>



※ お申込み後, 確認のメールをお送りします。お申込みから数日経っても連絡がない場合は, 左記のお問合せ先までご連絡ください。



主催: 未来の図書館 研究所
The libraries of the future research, Inc.

■スケジュール

No.	日時	領域	科目	概要	講師（所属）
1	10/18（金） 10:00～12:00 * オンライン開催	③ の 役割 2 ③ 図書館	図書館と学び1 「図書館とファブラボ の可能性を考える」	地域におけるの知の集合体である図書館。その進化系を、3D プリンタなどを用いた活動から考察していきます。	渡辺 ゆうか氏 (国際STEM学習協会/ ファブラボ鎌倉)
2	10/21（月） 10:00～12:00	① 図書館 の 情報 シ ス テ ム	図書館の情報システム1 「貸出利用統計の分 析」	貸出利用統計サンプルデータの、Microsoft Excel 関数による集計・分析・グラフ作成演習を体験し、利用統計の分析手法を考える機会とします。	星野 雅英 氏 (元東京大学附属図書館)
3	10/21（月） 13:00～17:10 (休憩含む)		図書館の情報システム2 「資料のデジタルデー タと Web サービス」	講師の公共図書館での実践に基づき、資料のデジタルデータ（画像）の扱いやその公開方法、さらに IIIF の API の活用等について、PC での演習を通じて学びます。	川嶋 斉 氏 (Code 4 Lib JAPAN/ 野田市立興風図書館)
4	10/25（金） 10:00～12:00	② 役割 1 ② 図書館	図書館とコミュニティ1 「図書館の価値をい かに伝えるか」	図書館の価値を伝えるために、アメリカでは近年、市民のストーリーを集め、語っていくことの大切さが強調されています。従来型の図書館広報の何が問題なのか、市民や行政の図書館イメージを変えていくためには、これから何が必要なのかを考えます。	豊田 恭子 氏 (東京農業大学)
5	10/25（金） 13:00～15:00	① 報 告 シ ス テ ム の 情 報	図書館の情報システム3 「図書館で活用可能 な AI を探る」	AI の代表的な手法を紹介し、ChatGPT やリアルタイム物体検出などの体験を通して図書館における AI の活用可能性についてディスカッションします。	中野 良一 氏 (かんたん AI 教育ラボ)
6	11/1（金） 13:00～17:10 (休憩含む)	② 役割 1 ② 図書館	図書館とコミュニティ2 「まちづくりと図書 館」	まちづくりに貢献する図書館について、地域社会における図書館の役割を視野に入れた上で、サービスに即して考えます。個々のサービスがどのようにまちづくりと関連しているか、役立つかに取り組み、さらに DX の活用方法について考えます。	大串 夏身 氏 (昭和女子大学名誉教授)
7	11/8（金） 13:00～17:00 (館内見学・休憩含む) **会場開催のみ	③ 図書館 の 役割 2	図書館と学び2 「情報に向き合う姿 勢と新聞」	日本新聞博物館には全国の新聞や種類の異なる新聞があります。館内を説明付きで見学し、ふだん入手の難しいそれらの新聞を使ったワークショップを通して、情報の意義や価値は、立場や地域によって異なることを知り、情報を扱う図書館だからこそ多様な視点を提供できることを考えます。	村山 正子 氏 (全国 SLA 学校図書館 スーパーバイザー/日 本新聞協会 NIE アドバ イザー)

* オンライン開催：講師はオンライン参加，受講者は会場から参加可能（受講環境はこちらで準備します）。

** 会場開催のみ：ニュースパーク（日本新聞博物館）で開催（入館料は受講料に含む），オンライン参加は不可。

住所：神奈川県横浜市中区日本大通 11 横浜情報文化センター（会場：3 階 多目的ルーム）

【受講にあたっての注意事項】

- ・ No.1, 7 の科目以外は会場とオンラインの両方で開催し、講師は会場から参加します。
- ・ 参加方法は科目ごとに選択可能です。お申込み後に、こちらから参加方法等について確認のご連絡をします。
- ・ 内容は、主に公共図書館を想定しています。
- ・ 科目によっては事前に課題が出されますので、必ずご準備ください。
- ・ Microsoft Word, Excel 等の基本操作ができることを前提にしています。
- ・ オンライン参加の方で「Zoom」を初めて利用される方は、Zoom ダウンロードセンター <<https://zoom.us/ja/download>> から、事前にダウンロードや設定、操作方法のご確認など、ご準備をお願いします。